

2020年12月 8 日

各 位

会 社 名 カルナバイオサイエンス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 吉野 公一郎  
 (コード番号：4572)  
 問合せ先 取締役経営管理本部長 山本 詠美  
 (TEL： 078-302-7075)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年2月7日に公表した2020年12月期通期（2020年1月1日～2020年12月31日）の連結業績予想を、下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正内容

2020年12月期通期業績予想の修正の内容（2020年1月1日～2020年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回公表予想 (A)	1,036	△1,779	△1,794	△1,822	△156.45円
今回修正予想 (B)	1,103	△1,190	△1,202	△1,229	△99.93円
増減額 (B-A)	66	588	592	593	
増減率 (%)	6.4%	—	—	—	
(参考) 前期(2019年12月期)実績	3,207	977	957	828	76.05

#### 2. 業績予想修正の理由

2020年12月期の連結売上高予想を1,036百万円から1,103百万円（前回公表予想比66百万円増、同6.4%増）に上方修正いたします。事業別には、創薬支援事業の売上高予想を1,036百万円から1,050百万円に、創薬事業の売上高をゼロから53百万円に修正いたします。創薬支援事業では、国内および北米における売上が期初予想よりも好調に推移し、同事業の売上高は期初予想を上回る見通しです。創薬事業においては、第1四半期に導出に伴う契約一時金を中国バイオノバ社から受領いたしました。

連結営業損失の予想は1,779百万円から1,190百万円（前回公表予想比588百万円の損失縮小）に上方修正いたします。これは、通期の研究開発費が期初計画の2,040百万円から1,572百万円に467百万円減少する見込みとなったことが主な要因です。現在オランダで実施中のBTK阻害剤AS-0871の第I相臨床試験は、第1四半期に被験者への投与を開始する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により投与開始が8月に延期され、今期に支出する臨床試験費用が期初計画より減少する見込みです。その他外注費用などを見直し、効率化を進めたことから、研究開発費は1,572百万円となる見込みです。創薬支援事業の営業利益は、利益率の高い自社製品の売上が計画を上回ったことにより、期初計画を上回る見込みです。

以上の売上高および営業損失の予想に営業外損益の影響を考慮し、経常損失は1,202百万円（前回公表予想比592百万円の損失縮小）、親会社株主に帰属する当期純損失は1,229百万円（前回公表予想比593百

万円の損失縮小) となる見込みです。

※本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上

(注) 業績予想の修正に関しましては、本日公表いたしました「中期経営計画の修正に関するお知らせ」もご参照ください。